

新丸山ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場
構成員から頂いたご意見の紹介について

構成員から頂いたご意見

- ・「ダム事業に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき「新丸山ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」(以下、「検討の場」という。)を設置し、相互の立場を理解しつつ、検討内容の認識を深め検討を進めています。
- ・現在まで検討の場幹事会3回、検討の場1回を開催し、構成員から様々なご意見を頂きました。また、今回のパブリックコメントと並行し、構成員に対して追加意見の提出を依頼し、ご意見を頂きました。
- ・構成員からいただいたご意見を次ページ以降にお示しします。

構成員から頂いたご意見

構成員	意見分類	ご意見
愛知県	幹事会、検討 の場で頂いた ご意見	<p>【事業費等の点検について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的要因等があり事業費増は理解。コスト縮減は大変ありがたいが、やや増加傾向であり、さらなるコスト縮減を。
		<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備放流は、コスト縮減と裏腹に治水安全度が下がらないよう、管理体制も含めてぜひお願いしたい。
		<p>【検証の進め方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価軸による評価は、工期、環境等について十分に議論を。 ・コストはできるだけ下げて欲しいが、コスト・工期等が不確定な案は捨てて絞り込み、早く議論を進めて欲しい。
		<p>【新丸山ダムの賛否に関するご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新丸山ダムの整備を早く進めていただきたい。
		<p>【その他全般的なご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北大震災を思うと、治水安全度を少しでも高めていただきたい。
	後日追加で 頂いたご意見	<p>【事業費等の点検について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備放流方式を採用することで、ダム高を縮小することにより、コスト縮減を図っていただいたことについて、事業費を負担する立場から、評価できるものとする。しかしながら、当初事業費1,800億円に対し、100億円から200億円の増額となることから、さらなるコスト縮減の努力をお願いしたい。
		<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備放流については、適切に運用されることが前提であるので、管理体制には万全を期していただくことをお願いする。
		<p>【対策案全般について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな可能性の観点から複数の対策案が示されたが、対策案の絞り込みにおいては、コスト最優先の視点は当然であるが、工期や実現性についても十分に考慮していただきたい。 ・コスト・工期について不確定となっている対策案については、早期に検討を行ってお示しいただきたい。 ・最新の知見を踏まえ、可能な限りのコスト縮減を検討していただきたい。
		<p>【治水対策案について】</p> <p>(河道の掘削、河道内の樹木の伐採について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された対策案の中では、河道掘削案や樹木伐採案が比較的低コストであるが、木曽川の樹木群や良好な景観が失われることから、自然環境への配慮についても十分な検討をお願いしたい。
		<p>【検証の進め方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本検討の場の中で、様々な方面から十分に意見を聞くことに努めていただき、着実に検証を進めていただくことをお願いする。
<p>【その他全般的なご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県西部地域には、海面より低い土地もあり、木曽川の堤防が万が一決壊した際には、非常に大きな被害が想定されることから、1日も早い治水安全度の向上が望まれる。 		

構成員から頂いたご意見

構成員	意見分類	ご意見
岐阜県	幹事会、検討の場で頂いたご意見	<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費を縮減するための予備放流方式は大変効果的。近年の予測の難しい大雨に備えて、きめ細かな運用をお願いしたい。
		<p>【検証の進め方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現性がない案、危険性を増すような案、工期・工費の面で難しい案、不特定では地下水、海水の淡水化は難しいのではないか。県としては原案であるダム＋河道改修＋樹木伐採、案を進めていただきたい。 ・県民の安全を守るためにも、事業の検証はできるだけ早く終えて、事業実施に移してほしい。
		<p>【新丸山ダムの賛否に関するご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このダムは下流の治水に対して基幹のダムなので、できるだけ早くやってもらいたい。
		<p>【その他全般的なご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道418号など付替道路は、岐阜県にとって非常に関心が高い。水特事業として採択されており、県として、この事業についてはぜひやっていただきたいという立場。 ・大変大きな犠牲をはらっている水没者の生活再建のために、約束した国道418号等について、当初計画どおりにやっていただきたい。 ・事業費の縮減は十分理解できるが、移転された49戸の方々や地元の期待感に十分配慮してほしい。
後日追加で頂いたご意見		<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備放流方式を取り入れることは、事業費の圧縮につながる。しかし、最近の雨は予測不可能で、かつ大量にピンポイント的に降るため、きめ細かな運用を実施されたい。
		<p>【新丸山ダムの賛否に関するご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新丸山ダムの関係で49戸の住民が移転をされている。事業を実施する地元とすると、痛みを感じながら協力をしている。生活再建事業である国道418号(丸山バイパス)、一般県道大西瑞浪線及び井尻八百津線に対する地元の期待感、信頼感も大切に、ダム事業を進められたい。 ・新丸山ダムは、昭和58年の過去最大の水害に対応する事業であり、県民の安全を守る観点から、早期に検証を終え、事業を実施されたい。

構成員から頂いたご意見

構成員	意見分類	ご意見
三重県	幹事会、検討 の場で頂いた ご意見	<p>【事業費等の点検について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費がまだ高く、測定の増加理由も不明であり、コスト縮減のさらなる努力が必要。
		<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備放流方式は、可能であれば、検討を進めていただいてコスト縮減に寄与していただきたい。 ・精度の高い洪水予測のもと、下流の安全に支障のない予備放流方式ができるのであれば、コスト縮減の意義は大きい。
		<p>【治水対策案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川断面を拡大する案は、下流の桑名市にとっては流量が増える案であり危惧している。下流への影響を十分勘案をして絞り込んで欲しい。
		<p>【流水の正常な機能の維持対策案について】</p> <p>(地下水取水について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不特定の地下水取水案は地盤沈下をしている桑名市にとって弊害が出る。
		<p>【その他全般的なご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最下流の三重県はゼロメートル地帯、1cmでも水位を下げるというのが一番重要。 ・不特定は、維持流量で40m³/s確保していただきたい。平成6年には大きな渇水で地盤沈下が発生。代替案の地下水のくみ上げとかは三重県としてはあり得ない。 ・東日本大震災を受けて海岸関係に費用を投資していかなければならない状況の中、限られた事業予算の振り分けが今後の課題になる。

構成員から頂いたご意見

構成員	意見分類	ご意見
恵那市	幹事会、検討 の場 頂いたご意見	【事業費等の点検について】 ・付替道路の費用が幅を持って計上されているが、特殊補償費と同じように最大限で計上してほしい。
		【対策案全般について】 ・現在、東日本の大震災により原発取りざたされており、その中で水力発電の電力を取り上げるというのは、如何なものか。 ・平成6年渇水補給に効果的に補給した阿木川ダムのようにダムの保水力の効果は大変大きいので、それを評価に加えて欲しい。
		【生活再建について】 ・付替道路は地域住民の方に説明し、整備することになっている。当初約束されたものについては確実に実施をしていただきたい。 ・上流域の代表として、道路関係をぜひ実施していただきたい。
八百津町	検討の場 頂いたご意見	【新丸山ダム(変更計画(案))について】 ・予備放流は、精度の高い洪水予測が可能ということだが、予測ということにいささか不安。
		【検証の進め方について】 ・再開発の新丸山ダムの代わりに再開発ダムを検討するのは意味がない。代替案は八百津町に効果が無く、新丸山ダムをつくるのが一番いい。早く結論を出して本省に上げて欲しい。
		【新丸山ダムの賛否に関するご意見について】 ・八百津町は、9・28という災害を経験している。事業を推進し、一刻も早く完成していただきたい。 ・今まで、地元の方にも協力。家屋の移転等は49戸、丸山ダムで移転をし、ダブル移転の方も9戸ある。そういう方々の心情等からも、ダムの推進を図っていただきたい。 ・用地買収はほぼ100%で、49戸の移転者も含め、八百津町内には全く反対者がいないので早く工事を再開してほしい。
		【その他全般的なご意見について】 ・生活再建の工事についても、幅広く行えるようにしてほしい。 ・人の命を守るコンクリートは必要と思っている。

構成員から頂いたご意見

構成員	意見分類	ご意見
美濃加茂市	幹事会、検討の場で頂いたご意見	<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備放流に際しては、下流域の影響等、精度の高い洪水予測のもとで運用をお願いしたい。 <p>【対策案全般について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国定公園内のライン下りの景勝地でもあり、木曽川に隣接している中心市街地が中山道の太田宿。ここが崩れると街そのものが成り立たなくなってくることも留意して案を出していただきたい。 ・一刻も早く下流の流域における将来の洪水リスクを軽減するうえにおいて、工期は代替案の抽出にも主要な課題だと考えている。工期の短縮や最短期間でできる手法を検討していただきたい。 <p>【治水対策案について】</p> <p>(堤防のかさ上げ、引堤について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嵩上げ案、引き堤案は美濃加茂市の太田宿の街並みに大きく影響し、河道掘削案は飛騨木曽川国定公園の名勝を消してしまうので、歴史とか自然に対する認識を加味して欲しい。 ・美濃加茂市はS58災害の時、激特事業で堤防の嵩上げをしている。更なる嵩上げ等は非常にエネルギーが必要で市民にも説明する責任がある。 <p>(河道の掘削について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策案の河道掘削案との組み合わせは、ちょうど美濃加茂市から犬山市までの国定公園内、その奇岩を掘削する案だが、これは国定公園内であり、地質的に非常に重要な資料がたくさん含まれている地域。それを破壊してしまうというのは、景観上、地球の研究上の問題からいっても非常に怖いことになる。 <p>【その他全般的なご意見について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃加茂市は、昔から河川の氾濫が非常に大きかった。S58.9洪水では激特で築堤もされた。
	後日追加で頂いたご意見	<p>【治水対策案について】</p> <p>(堤防のかさ上げについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防の隣接地には中山道太田宿の街なみや国指定の重要文化財「旧太田脇本陣林家住宅」等が現存している。堤防嵩上げとなると、これらの美濃加茂市を代表する景観が壊されることになり美濃加茂市としては反対である。 ・美濃加茂市と名古屋市を結ぶ大動脈国道41号バイパスの中濃大橋の架け替えが発生して利用者に大きな影響を与えることになる。これは避けていただきたい。 ・家屋移転など3回目の移転をお願いするところもあり、土地取得等に大変な困難が予想され、完成までに長期間を要することも大きな問題である。 <p>(引堤について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃加茂市は、木曽川右岸沿線を中心に市街地が広がっている。引堤案が採用されるとその市街地の一部が消滅することになり、市民に大きな負担を与えることになる。 ・9.28災害後の特殊堤築造時に用地買収しており、更なる用地の提供には地権者の反対が予想される。 <p>(河道の掘削について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曽川は、市を代表する景観であり飛騨木曽川国定公園になっており、また、日本ライン下りは市の観光の代名詞ともなっています。その大事な資源である渓谷美を壊すような掘削は、市民の誇りと観光資源をつぶすものであり、容認できない。 ・工期が約90年は、あまりにも長すぎ、洪水の不安を一刻も早く解消するべきであると考えます。

構成員から頂いたご意見

構成員	意見分類	ご意見
一宮市	幹事会、検討の場で頂いたご意見	<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 予備放流方式が下流域のリスクにどれ位影響を及ぼすか予測の精度、最近いろいろ豪雨形態とあわせて、示していただきたい。
		<p>【対策案全般について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの比較案等が提案されると思うが、一番現実的な対応を示していただき、速やかな対応をしていただきたい。 災害はいつ起きるか分からない。コストは当然だが工期と言う面も非常に大きな要素。工期が不明な案は早く取り下げていただきたい。
		<p>【検証の進め方について]</p> <ul style="list-style-type: none"> コスト重視というのは当然であるが、気象変動が激しく、いつ大きな災害が起きるかわからない状況の中で、治水対策の事業効果を上げるために、工期というものを重視していただかないと問題がある。
		<p>【新丸山ダムの賛否に関するご意見について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 一宮市の一番の課題はやはり洪水対策。今のダムの案では、一宮市で1.5m水位が下がるということであり、既設の丸山ダムのかさ上げが、やはり一番現実的な対応、早くなるのではないか。
桑名市	幹事会、検討の場で頂いたご意見	<p>【新丸山ダム(変更計画(案))について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 予備放流については少なくとも水位が上がる。桑名市はゼロメートル地帯が多く、コスト縮減は大事であるが、やはり安全・安心をまず第一に考え、十分検討していただきたい。
		<p>【流水の正常な機能の維持対策案について]</p> <p>(海水淡水化について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 海水の淡水化は、下流部は水産資源の豊富なところでもあるので、淡水化後の濃い塩水について心配。 <p>(地下水取水について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 桑名市は木曽川下流部に位置し、地盤沈下も大変ひどくなっている。平成6年異常湧水で地盤沈下し、現在、高潮堤を整備してもらっている。地下水のくみ上げについては慎重な検討をお願いしたい。
		<p>【検証の進め方について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業を再開した場合16年、また検討の場で事業着手まで期間。事業の再開に向けてなるべく早くスピード化をして進んでいただきたい。 実現性の高い案を選択肢し、早く進めていただきたい。
		<p>【新丸山ダムの賛否に関するご意見について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 私どもはゼロメートル地帯ということで、特に東海地震等がありました場合に、非常に不安。一刻も早くこの事業を完成させていただきたい。
	後日追加で頂いたご意見	<p>【その他全般的なご意見について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 桑名市は木曽三川の下流部に位置し、水産資源が豊富な漁場があります。しかし、平成6年には異常湧水により流量ほぼ0m³/sまで減少し、シジミなど魚介類が多く死滅するなど、水産業に大きな被害が出たところであります。各種対策案を検証していく中で、地下水取水につきましては、平成6年の異常湧水により、地下水が減少し地盤沈下が確認されております。下流部では高潮など水害を危惧しておりますので、更なる地盤沈下を招く恐れのある地下水取水については、対策案としては不適切と思われます。また、海水淡水化につきましても、広大な用地の確保、淡水後の高塩水の処理による水産資源への影響などを考えますと、対策案としては同じく不適切と考えます。近年の気象変動を考えますと、早急な流水の確保には、この新丸山ダム建設事業が費用、工期の面からも最も効果的と思われますが、他の対策案につきましても、早急に検証を願い、安定した流水の確保を願います。